

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 3月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	グループホーム自体では避難訓練を行っているが地域の災害時訓練等には参加できていない。またグループホームの避難訓練に地域住民の参加がない。	災害時に向けて地域との協力体制作りに取り組む。	運営推進会議で防災・避難訓練等の参加を議題にあげる。地域の訓練の開催を教えてもらい参加する。訓練の開催を地域の方に知らせグループホームの訓練に参加してもらう。	12ヶ月
2	4	案内や議事録は届けているが、会議への参加は地域包括や行政のみであることが多い。地域の方や自治会長、民生委員、家族はほとんど参加がない状態である。	運営推進会議への参加をしてもらい、情報交換などを行なう。	家族へは運営推進会議への参加の案内を送付するとともに来訪時に参加の案内を直接行う。地域へは自治会長、民生委員へ案内・議事録を届け、参加のお願いを行う。参加が出来ない場合は意見や情報を記入形式などにて頂ける様にする。	6ヶ月
3	2	町内会とグループホームで日常の行事や取り組みなどの双方の情報収集や交換、発信が少ない。	回覧板を通して町内会とグループホームの情報収集や交換、発信が出来るように取り組む。	自治会長へ回覧板に関して相談を行う。回覧板を通して地域やグループホームの行事や取り組みなどの双方の情報が分かるようにしていく。情報収集や交換、発信が出来るようにする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。